

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場取引所 大

上場会社名 永大化工株式会社

コード番号 7877 URL <http://www.eidaikako.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 服部憲治

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長 (氏名) 浦 義則

四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日

TEL 06-6791-3355

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
25年3月期第2四半期	2,608	5.2	82	△21.3	82	2.1	76	△2.6
24年3月期第2四半期	2,480	△22.0	105	△47.3	80	△58.7	78	△61.0

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 75百万円 (△5.3%) 24年3月期第2四半期 79百万円 (△46.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	11.70	—
24年3月期第2四半期	11.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
25年3月期第2四半期	7,437	5,516	74.2	870.82
24年3月期	7,495	5,499	73.4	835.14

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,516百万円 24年3月期 5,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円 銭	
24年3月期	—	0.00	—	3.00	円 銭	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	円 銭	—
25年3月期(予想)	—	—	—	6.00	円 銭	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,520	0.7	220	2.7	218	11.8	208	△24.1	31.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料4ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	7,300,000 株	24年3月期	7,300,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	964,737 株	24年3月期	714,737 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	6,560,673 株	24年3月期2Q	6,585,263 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業的前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等の牽引により、景気は緩やかながらも回復傾向を維持しておりますが、欧州債務問題による世界経済の減速懸念や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化、円高の長期化など依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては、フロアーマットおよび樹脂成形メーカーとしてのリーディング・カンパニーとなることを目指して、①顧客満足度向上を目指した営業戦略の強化、②購買／調達領域のコスト体質改革と管理一元化、③生産／品質領域のグローバル保証体制の確立、④開発力のレベルアップおよび安全性を主体とした物作りの徹底、⑤原価／経費を意識した収益体質の確立の5点を重点方針に掲げ注力してまいりました。

当第2四半期連結累計期間におきましては、昨年末に復活したエコカー補助金の効果等により、国内新車販売台数は前年同期に比べ大幅に増加し、当社OEM純正フロアーマットの受注も好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は2,608百万円（前年同期比5.2%増）、営業利益は82百万円（前年同期比21.3%減）、経常利益は82百万円（前年同期比2.1%増）、四半期純利益は76百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

[自動車用品関連]

自動車用品関連につきましては、昨年末に復活したエコカー補助金を追い風に、国内新車販売台数は前年同期に比べ大幅に増加いたしました。なかでも燃費性能の高いハイブリッド車や軽自動車の販売が大きく伸びました。このような環境のもと、当社OEM純正フロアーマットの受注も好調に推移したことにより、売上高は1,754百万円（前年同期比31.6%増）、営業利益は90百万円（前年同期比272.0%増）となりました。

[産業資材関連]

産業資材関連につきましては、昨年度後半から廃番となりました一部住宅関連部材の売上減少を補うため、積極的な営業展開を図りましたが、総じて厳しい環境で推移したことにより、売上高は853百万円（前年同期比25.6%減）、営業損失7百万円（前年同期は営業利益80百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は次のとおりとなりました。

<資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,437百万円となり、前連結会計年度末と比較して58百万円の減少となりました。

流動資産の合計は4,306百万円となり、前連結会計年度末と比較して220百万円の減少となりました。その主な要因は、現金及び預金の増加117百万円、受取手形及び売掛金の減少242百万円、たな卸資産の減少52百万円によるものであります。

固定資産の合計は3,130百万円となり、前連結会計年度末と比較して161百万円の増加となりました。その主な要因は、有形固定資産の増加62百万円、投資その他の資産の増加98百万円によるものであります。

<負債の部>

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は1,920百万円となり、前連結会計年度末と比較して75百万円の減少となりました。

流動負債の合計は1,342百万円となり、前連結会計年度末と比較して56百万円の減少となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金の減少111百万円、電子記録債務の増加123百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少15百万円、賞与引当金の減少20百万円によるものであります。

固定負債の合計は578百万円となり、前連結会計年度末と比較して19百万円の減少となりました。その主な要因は、長期借入金の減少16百万円によるものであります。

<純資産の部>

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は5,516百万円となり、前連結会計年度末と比較して17百万円の増加となりました。その主な要因は、利益剰余金の増加57百万円、自己株式の増加38百万円、その他有価証券評価差額金の減少10百万円、為替換算調整勘定の増加11百万円によるものであります。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における連結ベースでの現金及び現金同等物は1,990百万円と前連結会計年度末と比較して109百万円の増加となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

前第2四半期連結累計期間と比較して税金等調整前四半期純利益は4百万円減益となり、たな卸資産の減少103百万円、売上債権の減少20百万円などがあった一方で、その他の資産・負債の増加22百万円などが主な要因となり、当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の収入は386百万円となり前第2四半期連結累計期間と比較して96百万円の増加となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形固定資産の取得による支出120百万円、その他投資等の支出92百万円などがあった一方で、有形固定資産の売却による収入35百万円などにより、当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の支出は180百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して240百万円の減少となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

長期借入れによる収入50百万円があった一方で、長期借入金の約定返済による支出82百万円、自己株式の取得による支出38百万円、配当金の支払額19百万円により、当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の支出は90百万円となり、前第2四半期連結累計期間と比較して29百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,727,115	1,844,931
受取手形及び売掛金	1,447,421	1,204,955
有価証券	154,118	145,669
商品及び製品	417,576	447,722
仕掛品	98,091	86,329
原材料及び貯蔵品	486,293	415,221
繰延税金資産	75,355	78,763
その他	120,673	82,863
流動資産合計	4,526,643	4,306,457
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	894,822	868,011
土地	1,544,809	1,544,809
その他(純額)	155,633	245,177
有形固定資産合計	2,595,265	2,657,998
無形固定資産	4,150	5,021
投資その他の資産		
投資その他の資産	369,269	467,622
貸倒引当金	△4	△48
投資その他の資産合計	369,264	467,574
固定資産合計	2,968,680	3,130,594
資産合計	7,495,324	7,437,052
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	463,662	352,194
電子記録債務	512,059	635,834
短期借入金	50,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	137,030	121,760
未払法人税等	17,129	17,472
賞与引当金	56,203	35,713
役員賞与引当金	6,000	—
その他	156,488	129,091
流動負債合計	1,398,574	1,342,066
固定負債		
長期借入金	95,160	78,380
繰延税金負債	16,966	13,281
再評価に係る繰延税金負債	326,740	326,740
退職給付引当金	92,651	90,739
役員退職慰労引当金	33,186	36,285
資産除去債務	25,159	25,378
その他	7,290	7,290
固定負債合計	597,153	578,095
負債合計	1,995,728	1,920,161

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,241,700	1,241,700
資本剰余金	1,203,754	1,203,754
利益剰余金	3,036,757	3,093,790
自己株式	△197,695	△236,195
株主資本合計	5,284,515	5,303,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△39,250	△49,555
繰延ヘッジ損益	2,122	△763
土地再評価差額金	431,493	431,493
為替換算調整勘定	△179,284	△167,331
その他の包括利益累計額合計	215,080	213,842
純資産合計	5,499,596	5,516,890
負債純資産合計	7,495,324	7,437,052

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	2,480,281	2,608,064
売上原価	1,780,211	1,903,463
売上総利益	700,069	704,601
販売費及び一般管理費	594,849	621,832
営業利益	105,220	82,768
営業外収益		
受取利息	650	1,623
受取配当金	2,340	2,149
受取賃貸料	14,860	14,580
その他	10,480	6,019
営業外収益合計	28,331	24,371
営業外費用		
支払利息	4,113	2,319
賃貸費用	13,369	13,003
為替差損	33,840	7,389
その他	1,570	2,078
営業外費用合計	52,893	24,790
経常利益	80,658	82,349
特別利益		
固定資産売却益	330	352
特別利益合計	330	352
特別損失		
固定資産売却損	34	—
固定資産除却損	715	14
投資有価証券評価損	—	7,407
特別損失合計	750	7,422
税金等調整前四半期純利益	80,238	75,279
法人税、住民税及び事業税	5,669	6,417
法人税等調整額	△4,260	△7,926
法人税等合計	1,408	△1,508
少数株主損益調整前四半期純利益	78,829	76,788
少数株主利益	—	—
四半期純利益	78,829	76,788

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,829	76,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,394	△10,304
繰延ヘッジ損益	△4,644	△2,886
為替換算調整勘定	△776	11,953
その他の包括利益合計	974	△1,238
四半期包括利益	79,804	75,550
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	79,804	75,550
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	80,238	75,279
減価償却費	59,531	60,682
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	62	43
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△16,859	△20,578
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2,412	3,098
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△6,000	△6,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	694	△1,988
受取利息及び受取配当金	△2,991	△3,772
支払利息	4,113	2,319
為替差損益 (△は益)	25,505	21
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	7,407
固定資産売却損益 (△は益)	△295	△352
固定資産除却損	715	14
売上債権の増減額 (△は増加)	224,668	245,126
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△45,421	58,062
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,043	8,814
その他の資産・負債の増減額	△17,697	△39,829
小計	298,633	388,349
利息及び配当金の受取額	5,087	5,078
利息の支払額	△3,977	△2,169
法人税等の支払額	△9,327	△4,670
営業活動によるキャッシュ・フロー	290,416	386,587
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,306	△120,839
有形固定資産の売却による収入	2,430	35,213
投資有価証券の取得による支出	△2,548	△2,623
投資有価証券の償還による収入	81,010	—
その他	△2,000	△92,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	59,585	△180,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	50,000
長期借入金の返済による支出	△100,300	△82,050
自己株式の取得による支出	—	△38,500
配当金の支払額	△19,755	△19,755
財務活動によるキャッシュ・フロー	△120,055	△90,305
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,820	△6,139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215,124	109,367
現金及び現金同等物の期首残高	1,586,713	1,881,233
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,801,838	1,990,601

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,332,930	1,147,351	2,480,281
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,332,930	1,147,351	2,480,281
セグメント利益	24,227	80,993	105,220

(注) セグメント利益の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	自動車用品関連	産業資材関連	計
売上高			
外部顧客への売上高	1,754,146	853,918	2,608,064
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	1,754,146	853,918	2,608,064
セグメント利益又は損失(△)	90,120	△7,353	82,768

(注) セグメント利益又は損失の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これによるセグメント利益又は損失に与える影響は軽微であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年9月12日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、大阪証券取引所のJ-NET市場における買付けの方法により自己株式を取得することを決議し、普通株式250,000株を取得いたしました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が38,500千円増加しております。